MUTOH

組立・取扱説明書

INSTALLATION AND OPERATION MANUAL

DRAFTING STAND

TK-21

製図台

この度は製図台 TK-21 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取扱いください。

なお、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。

TK21-A-02

株式会社 ムトー エンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3　TEL（03）6758-7120（代表）

営業所

首都圏営業所	〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3	TEL (03) 6758-7130 FAX(03) 6758-7139
中部営業所	〒464-0055 愛知県名古屋市千種区姫池通 2-8	TEL (052) 761-5681 FAX(052) 752-1628
関西営業所	〒560-0083 大阪府豊中市新千里西町 1-1-8（第一火災千里中央ビル 1F）	TEL (06) 6871-9191 FAX(06) 6871-9199

HOME PAGE http://www.mutoheng.com

●保守・サービスのご用命は上記までご連絡ください。

ＴＫ－２１　組立・取扱説明書

◎組立前の注意事項

注意

1.本書に従い、正しい組立を行ってください。

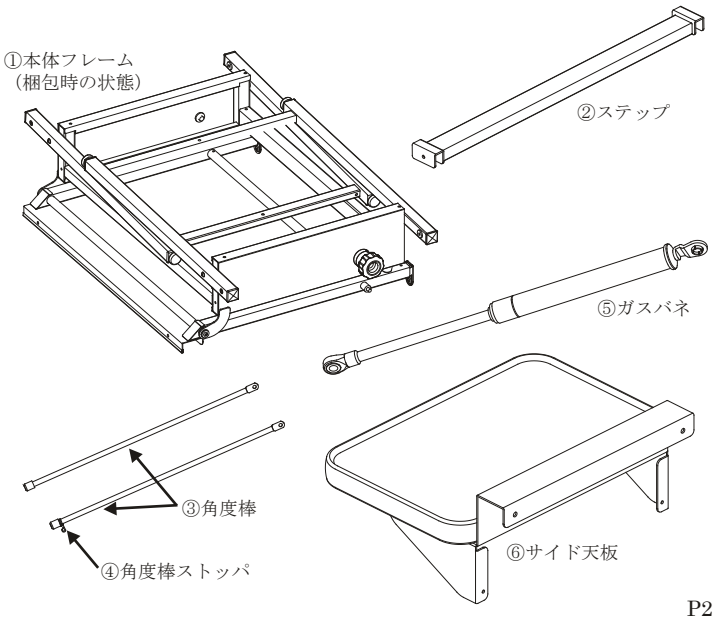
2.機器を組み立てる際は十分な場所を確保してください。

◎製品内容の確認

本製品には複数の部品があります。下記のリストにある部品が全てそろっている事をご確認ください。
（Ｐ２～３ページの部品イラストと合わせてご参照ください。）

※本体フレームは上下逆さ向きに梱包されており、組立時にはこの状態（逆さ向き）から組み立てを行います。
※本体フレームには図板受けが動かないように縛られています。
組立作業を容易にするため組み立て手順の指示があるまで取り外さないでください。
※付属品の図板受けクッションと＋トラスタッピンネジ１種は本体組立時には使用しません。

①本体フレーム・・・・・・・・・・・・・・・1	⑧六角穴付ボタンボルト　M６×３０・・・・2
②ステップ・・・・・・・・・・・・・・・・・1	⑨クリップリング　Ｄ８・・・・・・・・・・4
③角度棒・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	⑩トラスネジ　M４×８・・・・・・・・・・2
④角度ストッパ・・・・・・・・・・・・・・・1	⑪六角棒スパナ　対辺４・・・・・・・・・・1
（角度棒の１本に取り付けられています。）	⑫プラスドライバー・・・・・・・・・・・・1
⑤ガスバネ・・・・・・・・・・・・・・・・・1	⑬図板受けクッション・・・・・・・・・・・4
⑥サイド天板・・・・・・・・・・・・・・・・1	⑭＋トラスタッピンネジ１種　M４×２５・4
⑦六角穴付ボタンボルト　M６×４０・・・・4	⑮組立取扱説明書（本書）・・・・・・・・・1



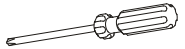
⑦六角穴付ボタンボルト M６×４０

⑧六角穴付ボタンボルト M６×３０

⑨クリップリング

⑩トラスネジ　M４×８

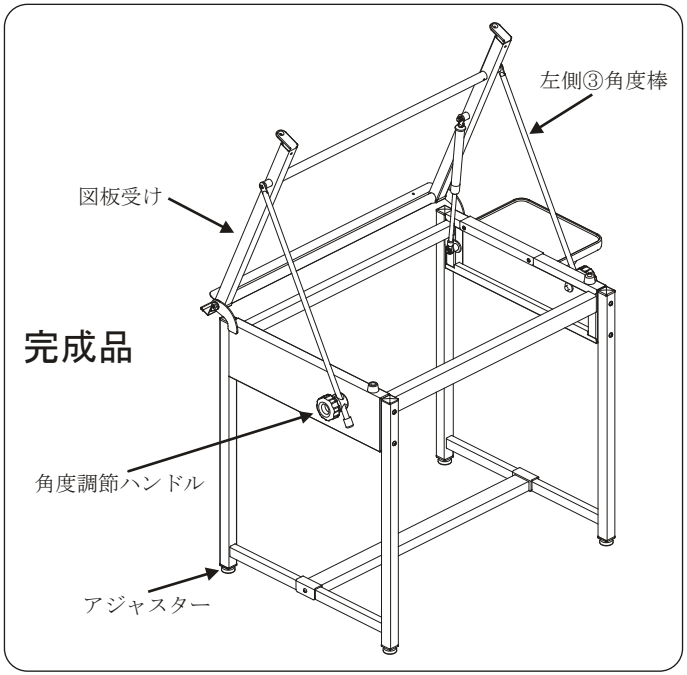
⑪六角棒スパナ


⑫ドライバー

⑬図板受けクッション

⑭トラスタッピンネジ１種 M４×２５

※本体組立時には使用しません。



取扱方法

アジャスターの調節
製図台が床面に対してガタがある場合は、アジャスター（４ヶ所）を時計方向、または、反時計方向に廻して調節してください。

角度調節
角度調節ハンドルを緩め、製図板をご希望の角度にしてからハンドルを固定してください。なお、角度調節ハンドルは２ヶ所とも確実に固定してください。

角度ストッパの調節
角度ストッパ④は、左側角度棒③をスライドしますので、次のような場合に、安全装置として役立ちます。
Ⅰ．角度調節ハンドルの上側にすると、他の製図台と傾斜角度をそろえることができます。
Ⅱ．角度調節ハンドルが緩んだ時、製図板が下降することを防止します。
Ⅲ．Ⅱと逆に角度ストッパ④を下側にしますと、上昇を防止します。

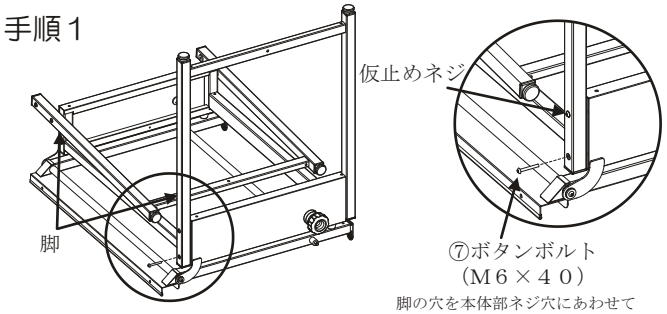
◆以上の説明で組立て及び、取扱い等には十分にご理解いただけたものと存じます。もし、取扱い方やアフターサービス等について不明な点がございましたら、ご購入先、または、弊社にお問い合わせください。

ＴＫ－２１　組立手順

※組立時には各図を参考に作業を進めてください。

１．脚を折り畳んだ状態から鉛直方向に立てて本体フレーム①に固定します。六角棒スパナ⑪を用いて六角穴付ボタンボルト（Ｍ６×４０）⑦を左右の脚フレーム、計８ヶ所固定してください。
（梱包時より、あらかじめ４ヶ所仮止めされています。これらのネジを一旦緩めて、脚フレームを鉛直に動かし、全てのネジを取り付けたあとでネジをしっかりと締めてください。）

手順１

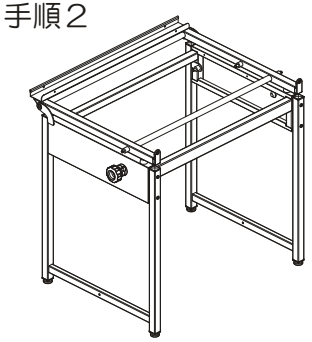


上図は脚の片側を立てた状態。
両側を立ててそれぞれ固定します。

脚の穴を本体部ネジ穴にあわせて
ネジで固定脚の前後左右計８ヶ所。
（うち４ヶ所は梱包時より仮止め済み）

２．本体を反転させてください。（脚の下端を地面に設置）。

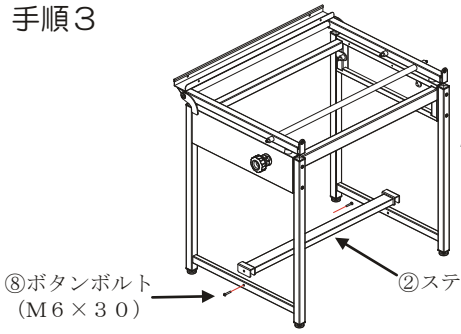
手順２



梱包時から上下反転させます。

３．脚フレーム左右をつなぐステップ②を取り付けます。六角棒スパナ⑪を用いて六角穴付ボタンボルト（Ｍ６×３０）⑧を左右、計２ヶ所固定してください。

手順３

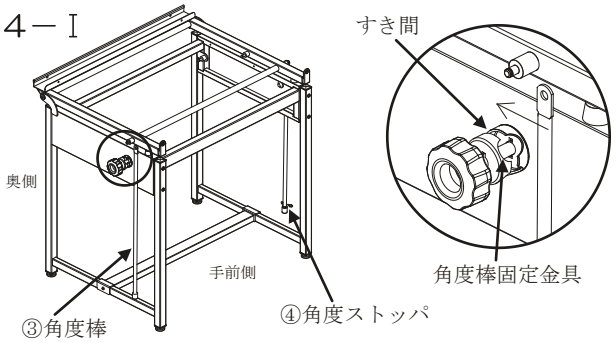


手順１～３までの作業を行った後で、図板受け（「完成品」参照）の縛りを解いてください。

４．本体の左右に角度棒③を取り付けます（計２ヶ所）。両側とも同じ手順で取り付けてください。

Ⅰ最初にハンドルを緩めて、ハンドルとパイプの間に付いている、角度棒固定金具にすき間を作ります。
そこに角度棒③を固定金具の間に通し、ハンドルを軽く締めておきます。（なお、角度ストッパ④は左右どちらがわに取り付けていても構いません。）

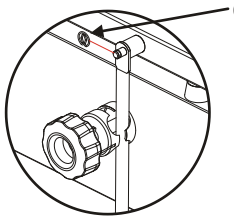
手順４－Ⅰ



角度棒固定金具の方向に注意してくだい。上図のように角度棒を通す固定金具のすき間が手前側を向くようにして取り付けます。

Ⅱ角度棒③先端の取り付け穴を本体フレーム①の凸部に押し込みます。角度棒③が外れないように、クリップリング（Ｄ８）⑨を本体に取り付けます。

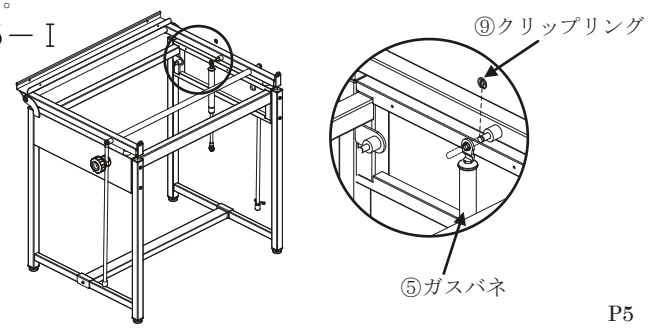
手順４－Ⅱ



５．本体にガスバネ⑤を取り付けます。

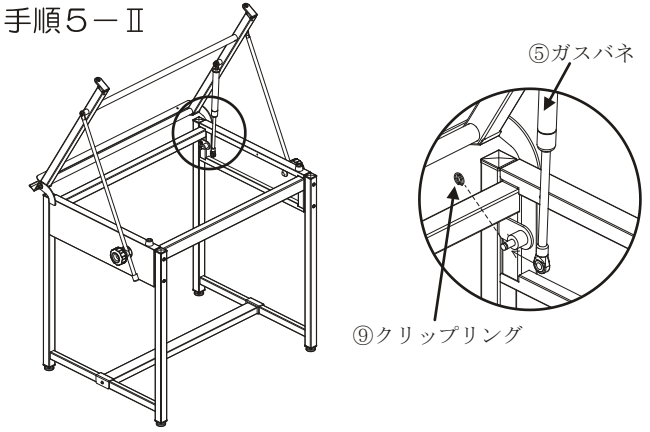
Ⅰガスバネ⑤のグレーの塗装側の先端にある穴を本体上の図板受け（本体フレーム①上部の上下に回転するフレーム）の凸部に押し込みます。ガスバネ⑤が外れないように、クリップリング（Ｄ８）⑨を取り付けます。

手順５－Ⅰ



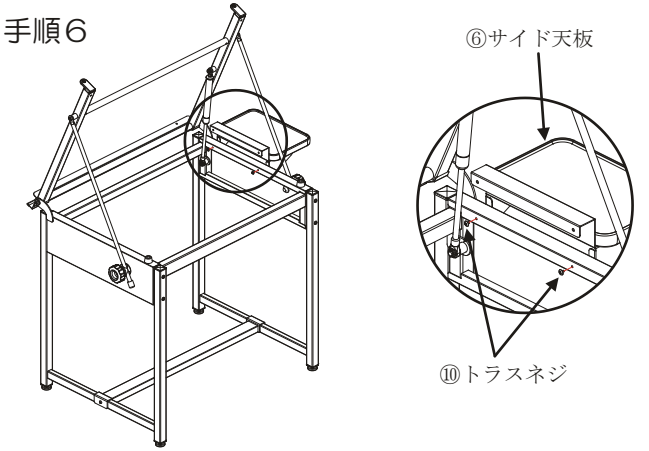
Ⅱ次に、図板受けの角度を上げてガスバネ⑤の細い側先端にある穴を本体フレーム①の凸部に位置を合わせて押し込みます。ガスバネ⑤が外れないように、クリップリング（Ｄ８）⑨を取り付けます。

手順５－Ⅱ



６．本体にサイド天板⑥を取り付けます。（サイド天板⑥は本体の左右どちら側にも取り付けられます。）
本体のネジ穴の位置に合わせてサイド天板⑥を本体部に嵌め込み、トラスネジ（Ｍ４×８）⑩で２ヶ所固定してください。

手順６



本体フレーム①にサイド天板⑥を引っ掛けてネジで固定します。

製図板・平行定規の取付方法

製図板・平行定規を取り付ける前に、ドラフター・平行定規の組立・取扱説明書をお読みいただき、その手順にそって取り付けてください。
取付作業は、図板受けを水平近くに固定して行ってください。